



2023年3月15日

各 位

会 社 名 株式会社ラバブルマーケティンググループ
代表者名 代表取締役社長 林 雅之
(コード番号：9254、東証グロース)
問合せ先 執行役員 コーポレート本部管掌 中川 徳之
(TEL. 03-6381-5219)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年3月15日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年5月12日に開示いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,742	百万円 205	百万円 201	百万円 122	円 銭 87.38
今回修正予想（B）	1,742	80	78	27	18.89
増 減 額（B－A）	0	△125	△123	△95	－
増 減 率（％）	0.0	△61.0	△61.1	△77.7	－
（参考）前期連結実績 （2022年3月期）	1,388	200	187	91	73.42

2. 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきまして、売上高は本年2月のTwitter社のAPIの変更告知の影響でSaaS型運用支援ツールの「ATELU」においてインスタントウィンキャンペーンを一時的に見合わせる企業が増え、SNSマーケティング事業の一部サービスにおいては売上が減少となりましたが、全体的にはSNSマーケティング事業及びDX支援事業の両セグメントの売上が堅調に拡大することで、計画通りの着地を見込んでおり、売上高につきましては前回予想を据え置きいたします。

一方で、上記のTwitter社のAPIの変更告知の影響等で、利益率の高いキャンペーンの受注減少による利益の押し下げ（計画比10百万円減）、体制強化のための採用教育費（計画比20百万円増）、M&Aや資本業務提携の検討に係る費用（計画比15百万円増）、本社移転による地代家賃（9百万円増）、研究開発費（計画比8百万円増）などの販管費が増加したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回公表した業績予想を下回る見込みとなったため、業績予想を修正いたします。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合がございます。

以 上